

令和 6 年度大学・高専機能強化支援事業
(支援 1 : 学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	跡見学園女子大学		設置区分	私立
学校種	大学		都道府県	東京
大学全体の総収容定員	3,880 名	※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	文学部（人文学科、現代文化表現学科、コミュニケーション文化学科） マネジメント学部（マネジメント学科、生活環境マネジメント学科） 観光コミュニティ学部（観光デザイン学科、コミュニティデザイン学科（令和6年4月1日よりまちづくり学科へ学科名称変更届け出済）） 心理学部（臨床心理学科）			
事業計画名	跡見学園女子大学情報芸術学部新設計画			

2. 事業概要

理工系学問分野への女性の進学促進という国の目標は、近代女子教育の先鞭をつけた跡見学園の使命である。 学祖跡見花蹊が芸術（アート）を教育の根幹に据えたことと、今日のデータサイエンスやデジタルアートの学識とを結合・融合させる教育・研究組織として、令和8年度に、文理融合型の情報芸術学部（学士：工学）を文京キャンパスに設置する。 これからの時代では、データサイエンスの上に「生成AI」によって新しい学問とアート表現が生みだされる。さらに、デジタルアートは、AIを中心にすえた新しい芸術表現を求め、新しい経験を生成し、新しい理解の仕方を模索する。そうした新しい時代を生き抜くための研究と教育の場を創設することより、社会が求める人材を育成する。授業科目では、映像・音響メディアや文化事業を手がける企業と連携し、インターンシップやPBLを通じて実体験する学習を組み入れる。近隣の大学とは共同研究・共同プロジェクトや単位互換などで連携し、文京区茗荷谷地域を「デジタルアートの拠点」とする展望を持つ。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和 8 年度					
認可申請・届出の別	認可申請					
改組内容	学部の新設					
設置等組織名	情報芸術学部					
設置等組織の学位分野	工学関係	理学関係	美術関係	音楽関係	-	-
当該学部等の所在地	東京都文京区					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	100 名					
他学部等の入学定員の減少数	160 名					

事業計画名	跡見学園女子大学 情報芸術学部新設計画				
-------	---------------------	--	--	--	--

基本情報					
改組予定年度	令和8年度	設置等組織名	情報芸術学部 情報芸術学科	入学定員増数(合計数)	100名
所在地	東京都文京区	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	160名

<社会や地域のニーズ・課題>

わが国の課題 【科学技術・イノベーション基本計画】:「自然科学系の博士後期課程への女性の進学率が低い状況を打破」。
／ 【我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について(第一次提言)(案)】: 理工系は「特に女子学生の占める割合の少ない」分野。

社会の要請 データサイエンス・デジタルアート分野における女性のクリエイター、プログラマー、ITCシステムオペレータ、データアナライザー、データアドミニストレーターなどの大きなニーズ。

跡見学園の使命
近代女子教育の先駆け(学園創立1875年)の自覚: データサイエンス・デジタルアートを巨大言語モデルを学術として理論的に実践的に探究する使命。
コンピュータ構造、プログラミングの実際、ネットワーク・システム構築、デジタル基盤の映像・音響創作、AI構築、データ検証能力を持つ理工系女子人材を養成する使命。

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- ・跡見花蹊(画家・書家)女子教育の根幹:
芸術(アート)
- ・情報芸術学部(学士:工学)が加える新コンセプト:
「データサイエンス&デジタルアート」
→文から理にシフトさせる融合
【女子教育一大課題の解決】
- ・企業連携によるインターンシップとPBLの実体験教育



<連携を通じた教育体制の整備>(いずれも協議開始中)

- ・エンターテインメント企業、音響・映像制作企業と連携する実践的教育。
- ・近隣国公立大学等との連携による「デジタルアートの拠点」の構築。

<教育内容・育成する人材像>

- ・データサイエンス分野主要授業科目:複雑系科学、情報理論、機械学習、データ解析、自然言語処理、コンピュータシステムとネットワーク。
- ・デジタルアート分野主要授業科目:Programming for Media Art、電子回路応用、デジタルファブリケーション、アートオムニバス、身体表現、キュレーション。

- ・データサイエンス・デジタルアートの学識を基礎理論レベルでしっかり身につける→応用展開能力を発揮する女子の育成【クロスリアリティで高次元データを理解し実践する】
- ・デジタル社会の各分野(理工系産業のみならず文化・社会系でも)喫緊に必要とされ活躍が期待される人材を育成
- ・「芸術を核とする精神文化のデジタル化」の真理探究＝その精神に背かない人間的に公正で自然環境と調和する実践的運用のできる判断力の形成【デジタル社会での人間を理解しその要請に応える実践をする】

<多様な入学者の確保>

- ・文系女子アート能力をデジタル能力に拡張する。
「国語」「英語」の重視、「芸術」「情報」の評価。
- ・高大連携により女子の関心を掘り起こす